

今回は、山麓部付近などで撮影に成功した野鳥たちを紹介します。

### ◆写真①～③： カヤクグリ

- ◇「チリリリ」という、か細い声が聞こえてきたので、音を立てないように近づいてみたら、木々の間から焦げ茶色に見える「スズメ」くらいの大きさの野鳥が見えました。
- ◇一度目が合ったように思ったのですが、ラッキーなことに逃げませんでした。
- ◇この鳥、夏山登山でもしなければなかなかお目にかかれないのですが、今回のように思いがけずに冬の里山で出会うと、何か儲かったような気になりますね。
- ◇繁殖地である亜高山帯から高山帯の岩場やハイマツ林における観察記録では、どうやら一妻二～三夫で暮らしているそうです…
- ◇兵庫県のRDBでは「絶滅危惧Ⅰ類」に、奈良県では「絶滅危惧Ⅱ類」に分類されていますが、海外にはいない日本特産種ですので、将来が危ぶまれますね…

### ◆写真④・⑤： ビンズイ

- ◇体長は「スズメ」よりやや大きく 16 cmほどで、高山のお花畑やスキー場の草地などで繁殖するようです。
- ◇冬場には、今回出会ったように、低山部から平地に降りてきて、小群で暮らしていますが、特に明るい松林を好むようです。(東南アジア方面に渡っていくグループもいます)
- ◇本種はセキレイの仲間ですので、尾羽を上下に振りながら歩いていることも多く、昆虫類やクモ類を採食していますが、冬場は草や木の種子なども食べているようです。

### ◆写真⑥： メジロ

- ◇柿の実を食べていました。

### ◆写真⑦： モズ (♂)

- ◇木の梢で「キーキキキキ キチキチキチ」と、なわばり宣言をしていました。  
(モズの高鳴き)

### ◆写真⑧： キビタキ (♂)

- ◇体長は「スズメ」くらいで、東南アジア方面から夏鳥としてやってきます。
- ◇この写真は、金剛山頂付近の「ちはや園地」内で撮影したのですが、暗い林の中で鮮やかなオレンジ色や黄色の羽毛を見ると、どきっとしますね…。
- ◇11月という時期を考えると、この個体も間もなく南へ向かって旅立っていくのでしょうか…

















